

巨大一遍さん 湯加減は？ 道後温泉漬かるオブジェ出現



松山・愛媛新聞社で展示

一遍さんがザブーン。鎌倉新仏教の時宗を開いた一遍上人を題材に、愛媛大と松山大の学生らが新聞紙で制作した巨大オブジェの展示が22日、松山市大手町1丁目の愛媛新聞社1階ロビーで始まった。

と二つの大学の学生が連携して昨年11月、ワークショップを開催。埼玉県に住む造形作家・関口光太郎さんを講師に招き、子どもやお年寄りなど地域の人も参加して2日間でオブジェを仕上げた。

「手を動かしてものを作る楽しさを感じよう」

PC・携帯
動画ニュース



道後温泉に漬かる一遍上人を表現した巨大オブジェ

松山市道後湯月町の宝厳寺で生まれたとされる一遍上人が道後温泉に漬かっている様子をイメージ。大きさは奥行き約5・5尺、幅約4・4尺。湯船に横たわり、リラックスした表情の顔や大きな手足は、大量の新聞紙を約10色のガムテープで貼り固めて立体的に表現している。

愛媛の名産品、ゆるキャラも湯に浮かび、にぎやかな作品となっている。

企画した愛媛大大学院1年の鈴木万葉さん(23)は「見た人が自分も何か作ってみたいと思ってもらえたらうれしい。愛媛の文化への興味も深まれば」と話した。展示は2月中旬ごろまでの予定。平日午前9時～午後5時。来場は公共交通機関で。(増田有梨)

読もう!

